

## 令和元年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 令和元年7月23日(火) 午後2時00分～午後3時30分
- 2 場 所 千葉市役所議会棟 第3委員会室
- 3 出席者 (委員)  
小川直哉会長、本澤英雄副会長、小川重夫委員、五月女重夫委員、柴田健委員  
五味秀夫委員、馬場宏輝委員、前田信治委員、山根和子委員  
(事務局)  
那須生活文化スポーツ部長、塚瀬公益財団法人千葉市スポーツ振興財団施設長、  
山崎スポーツ振興課長、笠井スポーツ振興課長補佐、古山保健体育課長、  
地曳指導主事、曾根担当課長補佐、伊橋主査、草場主査、田口主任主事  
平田オリンピック・パラリンピック振興課長、鈴木オリンピック・パラリンピ  
ック調整課長補佐

### 4 議 題

#### (1) 報 告

- ア 平成30年度スポーツ振興事業実績及び令和元年度方針と施策について
- イ 千葉市スポーツ推進計画の進行管理について

#### (2) 議 事

- ア 千葉市スポーツ推進計画見直しに係る市民意識調査の方向性について

### 5 議題の概要

#### (1) 報告

2項目の報告を行った。

#### (3) 議事

千葉市スポーツ推進計画見直しに係る市民意識調査の方向性についてご審議いただいた。

### 6 会議経過

開 会 午後2時00分

【笠井課長補佐】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「令和元年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。

本日の進行を努めます、スポーツ振興課の笠井でございます。

なお、本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっておりますが、本日傍聴者はおりません。

会次第に従いまして、変更がございました委員のご紹介をさせていただきます。

令和元年度5月に行われた千葉市小中学校体育連盟の総会におきまして、津野委員が千葉市小中学校体育連盟会長の任期を満了されたため、スポーツ推進審議会委員を解嘱し、新委員として、新たに千葉市小中学校体育連盟会長に就任された五味秀夫小中学校体育連盟会長に就任を委嘱したものであります。なお、五味委員におかれましては、所用により遅れてご出席いただく予定となっております。

続きまして、職員紹介をさせていただきます。(市職員紹介)

また、平成31年4月1日より千葉市スポーツ振興財団と千葉市体育協会が統合し、千葉市スポーツ協会が発足いたしました。スポーツ協会につきましては本日ご出席いただいております小川直哉様が会長を務められております。

ただいまご紹介いたしました職員や体制で一丸となって、スポーツの推進に取り組んでまいりますので引き続きよろしく願いいたします。

続きまして、小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

**【小川 会長】** オリンピック・パラリンピックがちょうど今日から開会まで1年と言うことで迫ってまいりました。また、聖火リレーのコースも決まってまいりましたし、様々なイベントが本市においても行われております。今月の10日にもポートプラザホテルにおきまして、千葉県のオリンピック・パラリンピックの選手130名くらいなんですけれどもその強化選手指定の授与式が行われました。そしてさらに今年は隣の茨城県で国体がございます。そして今6月からですけれども、千葉県を会場として山梨県を含む関東ブロック大会の予選の大会が開かれております。千葉市におきまして8種目がありますね。それもゴルフも薙刀も新体操も終わったんですけれども、こうしていろんな大きなスポーツイベントがある割には依然として、千葉市の市民の皆様方の特に働き盛りの人たちのスポーツの実施率が悪いと言うことなんですけれども、これは本日の審議事項ではありませんが、またこれからも皆さんと共に千葉市の市民の皆様のスポーツ実施率の向上について議論していただければと思っております。

**【笠井 課長 補佐】** 小川会長ありがとうございました。続きまして本来であれば生活文化スポーツ部長の那須よりご挨拶を申し上げるところですが、本日所用につき本会議に出席できませんので、スポーツ振興課長の山崎よりご挨拶申し上げます。

**【山崎 課長】** 改めましてこんにちは。本日の那須部長が急用により欠席をさせていただいておりますので、代わって挨拶をさせていただきます。まず、委員のみなさんにおかれましては日ごろより千葉市のスポーツ振興に多大なるご尽力をいただいておりますことを御礼申し上げます。本日は先ほど会長からもございましたとおり、来年度にオリンピック・パラリンピックを控えまして、事務局といたしましてオリンピック・パラリンピック振興課長そして調整課長補佐にもご出席いただいております。今後、来年度に迫っておりパラリンピックについても何か聞きたいこと等ございましたらご質問していただければと思います。また、当課の主な出来事といたしまして、先ほど会長からもお話しいただきましたとおり、長年の悲願でございました千葉市体育協会とスポーツ振興財団が統合により公益財団法人千葉市スポーツ協会として発足できたという事は、我々事務局といたしましても非常に光栄でございますしこれから我々も支えていきたいと考えているところでございます。またこのスポーツ協会の中に、我々も長年の課題でございました障害者の部門、障害者スポーツ委員会というものを設置することができました。本日ご出席いただいております山根委員にも外部委員としてご参加をお願いしているところでございます。このスポーツ協会につきましてはジュニアの育成ということを第一の課題といたしまして進めてい

くような形になると思いますけれどもよろしくお願ひしたいと思ひます。またもう1点スポーツ推進委員ですが、本澤副会長がお見えになっておりますけれども、スポーツ推進委員500数十名のユニフォーム、これが約30年ぶりにデザインを刷新いたしまして、昨日よりその配布を行っております。このようなことから、500名のご尽力いただいている推進委員も気持ちを新たにさせていただいて、来年のオリパラに向けてさらなるスポーツ振興に取り組んでいただければと感じるところでございます。また、最近でいきますと、10日にもトップスポーツの連携推進にもご協力をいただいております。JFE東日本公式野球部が、都市対抗野球の千葉市代表として参加をいたしております。昨日準々決勝でパナソニックに勝ちましてベスト4に進出いたしました。明日準決勝、予定で行きますと明後日決勝ということで進んでいきます。我々千葉市の代表としてももちろん我々も応援するところでございますが、このJFE東日本も優勝することにより、さらなる千葉市のスポーツの活性化にもつながっていくのではないかなというところで我々も応援していきたいと思ひるところでございますので、もしお時間があれば準決勝決勝と足を運んでいただければと思ひしております。本日は報告事項及び審議事項1点がござひます。長時間にわたる審議になりますけれども、慎重なご審議をお願ひいたしまして私の挨拶に代えさせていただきます。

【笠井課長補佐】ありがとうございます。これからの進行につきましては、小川会長にお願ひいたします。

【小川会長】まず、「議事録署名人」について、先程、笠井課長補佐から説明があったように、本審議會は會議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思ひますが、よろしいですか。

【各委員】<異議なし>

【小川会長】それでは、議事録署名人として、前田委員にお願ひしたいと思ひます。

【前田委員】<了承>

【小川会長】それでは、會議次第に従ひまして、進めてまいりたいと思ひます。

最初に、報告(1)の「平成30年度スポーツ振興事業実績及び令和元年度方針と施策について」、はじめに、スポーツ振興課よりお願ひします。

【草場主査】<資料1により報告>

【小川会長】次に、保健体育課よりお願ひします。

【古山課長】<資料2により報告>

【小川会長】次に、スポーツ振興財団よりお願ひいたします。

【塚瀬施設長】<資料3により報告>

【小川会長】今の報告について、何かご質問はありますか。

【小川重委員】体力運動能力の結果があったんですけども、昭和60年代と比べると体格は膨張してるけれども運動能力は昭和60年代よりも下がっているというような、体格について把握していますでしょうか。

【古山課長】5年前との比較では身長体重についてはあまり変化が認められません。

【馬場委員】日本人の体格はもうピークを過ぎた体力テストの結果が出ていたんですけども、これは全数調査か抽出した数値か、指定の学校を抽出したデータなんでしょうか。

【古山課長】全部の学校から抽出された児童だけで数字を出しておりますので全数ではありません。

- 【馬場委員】子供たちが学校の授業の中でパラスポーツ体験をしてという話をお聞きしたんですけども、これはオリパラが終わった後はどういう風になりそうか何かありますでしょうか。
- 【古山課長】教育過程の中で位置づけて保健体育の授業の年間計画の中に位置づけたので、これからも基本的には授業としてずっとやっていくものです。
- 【馬場委員】スポーツ振興課報告の施設の利用のところなんですけれども、利用者数を出しているんですが、稼働率というか施設がどれぐらいいっぱいいっぱいなのか、実は人数の割にもっともっと使い方によっては使えるのかその辺の情報があればと思います。
- いっぱいいっぱいでしたらこれ以上施策はないでしょうし、もし使われてないのあればもっと使われてもらうようなそういう取り組みができるのかなと思います。
- 【伊橋主査】スポーツ施設の稼働率なんですけれども、概ね体育館等については80%90%以上の稼働率となっております。球場に関しましては冬場の使用がございませんので、球場等については比較的低くはなっております。
- 【馬場委員】スポーツ協会の報告の中で地域のコミュニティーづくりというタイトルになっておりますけれども、地域のコミュニティーづくりを目指したような事業展開というのがもし何かあれば教えていただければと思います。
- 市民の方が参加できるようなものですか、そういったものは地域のコミュニティーづくりという意味で特に取り組まれているものがありますでしょうか。
- 【塚瀬施設長】具体的に動いているものはなく、計画的にはやっているというところでございます。
- 【小川会長】今地域総合型クラブというのは、稲毛区は2つあって、各区1つずつあってと言うふうにやっていますよね。その辺その辺の情報っていうのはどうなんでしょうか。スポーツ振興課の育成班の方で担当しておりますので、もし問い合わせ等ありましたら情報等を共有させていただければと思います。
- 【前田委員】サンスポ千葉マリンマラソンの参加者が12,000人ということですが、この中で千葉市の方というのは何人ぐらいいらっしゃいますでしょうか。
- 【草場主査】居住地別データは集計をしておりますが、主催者の方としては把握しているかと思しますので調べましてご報告させていただきたいと思っております。
- 【前田委員】やはり近いところでやるイベントなので、そういうところに千葉市の市民の方々を参加させるような形ができればもう少し参加が増えるのかなというところがあります。
- 【前田委員】中学校の武道が柔道しかないのは何故でしょうか。
- 【古山課長】学習指導要領上は中学校の保健体育の授業で武道をやるようにということで必修になっております。各学校に、柔道でも剣道でもということで判断を任せているところですが、柔道と剣道両方を取り入れている学校も数校ありますが、ほとんどの学校は柔道を選んでいるという状況です。それは学校の選択となっているところでございます。道具の事などが一番大きいとは考えておりますが、柔道を選択しているというのが現実というところでございます。
- 【前田委員】やる子が少ないとかそういうことはないんですよね。皆さん必修でやっているのです。
- 【古山課長】体育の授業ですので全員やっております。

- 【五月女委員】昨年度、椿森中で1・2年生の男子に合気道を教えておりまして、そのように探すと他の武道をやっている学校もあるかもしれません。校長先生や体育科の裁量で決まる部分もありますが、そのような動きがあればご協力させていただきます。
- 【小川 会長】ダンスも必修科目ですよ。
- 【古山 課長】ダンスも必修科目です。
- 【小川 重委員】水泳の指導で民間委託が始まったということですが状況をお聞かせください。
- 【古山 課長】今年からモデル的に市内小学校2校におきまして、学校のプールを使わず近くの民間が経営するプールに出向いて水泳の授業をするということで、そこでコーチの方に水泳を教えてもらうという授業を行っております。目的は3つありまして、1つが泳力の向上、2点目は学校プールが30年40年50年と経ち修繕や改修費用が嵩んでいるという現状です。そこで改修や作り直しをするよりも、委託という形で続けるほうが金額的にもリーズナブルであるという考えで行っております。佐倉市においても同様に行っている学校がありまして情報を得ております。3点目として教員の働き方改革の一環として、すべての教員がプールの授業に同行するのではなく、1人か2人の教員がプールの授業に同行し、コーチの方から指導していただくことで、プールの指導に関わらない教員がでることになります。このことにより、他の業務に取り組むことができ、教員の負担が軽減されるのではないかと考えております。また、プール期間中に体育主任が土曜日でも日曜日でも出勤して塩素を投入したり、水の管理といった部分での負担軽減も図られると考えております。以上の3点からモデル的に試しておりまして、学校、スイミングスクール、児童、保護者、教員からアンケートをとりながら、評価を行い来年度からの方向性について検討していきます。また、全国的にもそのような地域が増えているというのが現実でございます。
- 【五味委員】働き方改革ということで学校現場での児童の体力向上は目指したいところですが、朝練習の仕方を考えたり、週2回は運動活動に寄与するという事の中で、いかに体力運動能力を向上させていくかということでもかなり工夫しているということは日々感じているところでございます。
- 【五月女委員】武道の授業ですが、武道の必修化ということで子どもたちには競技を教え込むのかもしくは武道としての理念や心構えを教えるのか、個人としては競技を教え込む指導者が多いと思うのですが、どちらを重視しているのでしょうか。
- 【古山 課長】日本人の心等について指導していくうえで、武道というものが密接に関わっているので武道が授業に取り入れられたという経緯があり、尊敬や礼といった心構えを教えるのが武道に求めているところであります。柔道は怪我が大きな怪我につながりやすいということもあり、国の方からは安全対策を講じるようにということもかなり言われております。そのため教員もより安全面に目がいきがちであるということもありますが、本来は安全に指導する中で礼や心構えを教えていくということが大事であると考えます。
- 【柴田委員】スポーツ協会事業における競技力向上・スポーツ団体育成という項目が新しく加わりましたが、詳しい情報はどのように集めたらよいのでしょうか。
- 【塚瀬施設長】現在、なにができるかということから始めていますが、市政だよりやスポーツ協会ホームページで広報し募集を行うところでございます。

【小川会長】ほかに質問などありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは報告（２）、「千葉市スポーツ推進計画の進行管理について」、事務局よりお願いします。

【草場主査】<資料４により報告>

【柴田委員】千葉市はヒューストンと姉妹都市で、今年の秋にヒューストンロケッツが来日するというので、もし千葉市に選手が来て学校にも来てというようなことがあるとも、すごくインパクトが大きいこととっていて、そのようなことがあったらいいなと思うのですが、そのような活動は国際的であり、オリパラにもつながると思います。情報というわけではないですが、アイデアだったり動きだったりというのはあるのでしょうか。

【山崎課長】ヒューストンロケッツは 10 月に日本に来ると言う情報は得ております。我々も姉妹都市としましてスポーツを通じて何かできないかと言うことで検討を進めており、興行主である楽天が行っておりまして、アポイントも取っております。しかしながら開催自体が埼玉と言うことで、何か埼玉へ乗り込んでできるかと言うことで検討してはありますが、最終的な結論としては予算の問題や興行主体が異なることなどから断念したという状況でございました。何か交流等ができるかなということでも我々も動き始めたと言う事は事実でございました。

【小川会長】他にありませんでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは議事に入りたいと思います。千葉市スポーツ推進計画の見直しに係る市民意識調査の方向性について説明をお願いします

【草場主査】<資料５により説明>

【五味委員】平成 21 年度調査時においては、スポーツレクリエーションの定義のところでもウォーキングも軽い体操も含むと言っておいたんですけども、やはり運動強度ですとか時間数といった要素を定かにならなかつたので、人によっては 5 分 10 分では運動ではないと言う判断もされている場合もあるし、それでも運動だと言う人もいたので、確かに何回も重ねていくうちに調査の精度も高まればなと思いました。実施率が減少してしまっているというのは当時からやっている子育ての子育て世代の女性をなんとかしなければということで、高齢者の方は結構運動されているというかわかっているのですが、若い女性世代だけ沢山集めて調査したいというのはなかなかうまくはいかないと思うんですけども、そういう方のニーズだとかなぜやらないだとかというところを分析できると実施率向上につながると思います。

【本澤副会長】1 つの提案といいますか。実施率が非常に低いという中で、今若葉区あたりではラジオ体操のススメと言うのを実施しておりまして、50 カ所位で多分日々行われているのかなと思います。その続きでグラウンドゴルフに移行したり、そういうところも結構あると思うところがありますので、1 つ目を当ててもいいんじゃないかなと言うふうに思いますので今後検討していただければと思います。

もう 1 点ですが、スポーツ推進委員の方でジュニアスポーツ大会を各地区でやっておりますが、何地区か一緒になって 1 つの競技大会をやるという方法をとっております。その際に準備運動をやるのですが、学校によって知っている学校とそうでない学校があります。運動会にしてもラジオ体操をやる学校とリズム体操のようなス

トレッチをやる学校というようにいろいろなんですね。ある小学校でラジオ体操を朝の開会式の時にやりまして歌が始まりますと、テントの中にいた人たちも父兄の人たちも一緒になってやるものです。それが一体感であると私は感じております。学校の関係になるかと思いますが、小学校でもラジオ体操を教えるというのは、将来社会人になったときに、ほとんどの会社ではラジオ体操をしてから仕事というところも多いかなと思いますので、そういったところも含めてそういう方向に進めばいいのかなと思います

【前田委員】調査精度のところですが、目的としてスポーツを振興させたいのか、スポーツという競技を振興させたいのか、それとも市民の健康や体力とかを向上させたいのかによって、例えば筋トレをするのもスポーツにするという形にすれば多分数字は上がると思うんですけども、本来の目的がそこにあればそれで良いですし、そうでないのであれば、やはりスポーツというものが競技と言う形なのか、最終的な目的がどこにあるのかを教えてください。

【山崎課長】まさしくおっしゃられたとおりのところが課題になってきております。今回の重点項目としている調査精度の向上の中で、定義のばらつきというところをご指摘の部分にあたるのかと思います。精度の低下を防ぎ課題を明確にし、社会の情勢を反映する、そのような部分を調査に反映させていくというところで幅広い調査項目を作り、その中でどのように皆さんがそのスポーツをどのように感じていくかということから洗い出すような調査を行う、そのような形で実施する予定でございます。何を目的としてという部分ではなく、運動の定義、例えば散歩が運動なのか、そういうところの調査方法によってもかなり変わってくると思いますので、その辺を洗い出していくというような調査をお願いしているというところでございます。

【小川会長】スポーツが何かという捉え方によるとと思いますが、国の方の基準というのはわかりますでしょうか。

【草場主査】スポーツ省の方ではウォーキングを推進しておりまして、歯を食いしばって汗をかきながら頑張るといったものがスポーツではないということのいうころを前面に押し出しているところがございます。様々な調査を見ている中で国の動向として把握しているところは、1人でもできる細切れの時間でもできるといった形で、いつでもどこでも手軽に体動かすこと、そこも1つスポーツの範囲として含めていこうという形のところで動いているところがあります。そうした社会情勢の変化や、国の計画にも沿った形で今回の計画の見直しも進めたいと考えております

【小川会長】他に何かありますでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは議事につきましては以上といたしますが、全般にわたりまして改めましてご意見ご質問等ありましたらお願いします

【馬場委員】スポーツの定義のところですが、e スポーツをどうするのかというところがありまして、茨城国体で公開競技として入ってきてるとか、オリンピックでどうするかですとか、e スポーツもスポーツとして認められつつあったり、e スポーツで賞金を稼ぐ若者が出始めたと言うこともあり、そういう問題も入ってくるかと思えます。また、私はオリパラのほうも関わらせていただいておりますが、行政、企業、学生も含めた市民のボランティアが一緒になって様々なことをやらせていただいております。それが何か良い形で千葉のスポーツを支える仕組みになって欲しいと思って

ますので、行政、企業、住民というのが一体化して一緒に何かやっていく、昨年サンスポマリンマラソンのお手伝いさせて頂きましたけれども、何かそういうものが全体的に広がって欲しいという願いがあります。特に行政の事業も学校の部活も体育の授業も効率化ということがテーマになっていますけど、スポーツそのものが縮小していくようなイメージになってしまうので、そうではなくて役割だけの問題だと思うので、地域だとボランティアの問題、それからスポーツを含む1番のビジネス、それが一緒になって千葉を盛り上げていくという発想でいくと税金の問題など、行政の事業だけではない千葉のスポーツと捉えられると思いますので、行政、企業、市民が一体になったというようなコンセプトも出てきてくれるといいなと思います。そうなる初めて共生社会が実現されると思いますので、税金の範疇でやっている事業だけを頑張っていたくのではなくて、ボランティアそれから企業の協力というところ行われ方も大事なと思います。また様々なところで高齢化という問題が出てくるんですけども、逆に言うと若者をうまく使えてないんじゃないかという気がしておりますので、学生は、時間はあるので、ただそこに価値を見出せないだけだと私は思っています。今いろんなところに学生のボランティアを連れてってまうけれども、ボランティアってお金もらえないんでしょと言う学生もおりますが、喜んで来てくれている学生も実際いますので、若者にやりがいとか生きがいとか楽しみと言うものを大人がちゃんと提供してあげれば、高齢化ということもない位に若者というのは、もっともっとエネルギーも時間もありますので、もっと活躍してくれると私は願っております。ぜひその辺も何か考えていただけたらなと思います。

【山崎課長】e スポーツにつきましてはまさしく我々も頭を悩ませているところでございます。調べた中では、先ほど委員がおっしゃられたように、茨城国体で文化プログラムとして取り入れられるということが決定されております。かつ、2022年に中国で開催されるアジア大会では正式種目になるんじゃないかということも聞いております。また、2024年のパリのオリンピックでは、正式種目になるんじゃないかということも聞いております。我々も他政令市等いろんな意見の聴取をしているところでございます。ただ国のスポーツ省の方では、スポーツは体を動かす活動というところで、e スポーツはスポーツではないというようなことを発言しておりますので、我々も国に準じながら考えて今のところ進めていくことを考えておりますが、市町村によってはe スポーツをスポーツと認めざるをえないのではないかという意見もでておりますので、今後の大きな課題として認識しているところでございます。

【小川会長】他に何かありますでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは以上で協議を終了します。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【笠井課長補佐】それでは、これをもちまして、「令和元年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後3時30分